

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第4区分

【発行日】平成20年2月14日(2008.2.14)

【公開番号】特開2007-90789(P2007-90789A)

【公開日】平成19年4月12日(2007.4.12)

【年通号数】公開・登録公報2007-014

【出願番号】特願2005-285831(P2005-285831)

【国際特許分類】

B 41 F 33/14 (2006.01)

B 41 F 15/26 (2006.01)

【F I】

B 41 F 33/14 K

B 41 F 15/26 A

【手続補正書】

【提出日】平成19年12月27日(2007.12.27)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

基板表面の2箇所以上の任意パターンを使用し、画像処理に基づいて該基板をスクリーンに位置合わせし、基板面上にマスクを介してペーストを塗布するスクリーン印刷装置において、任意パターンの周囲に類似パターンが存在していても、予め用意された辞書モデルと任意パターンとの相関値を演算する相関値計算部と、前記相関値計算部によって求められた相関値に基づいて、モデルの形状推定を行う形状推定部と、前記推定部で推定された複数個の形状を仮基準パターンとして記憶設定し、前記設定記憶されたパターン位置座標を画像計測演算する位置座標演算部により、予め記憶されている目標基準パターン間距離と比較し、差の最も少ない組み合わせのマークを基準パターンとして登録する手段を備えたスクリーン印刷装置。

【請求項2】

請求項1に記載のスクリーン印刷装置において、

予め用意された辞書モデルと任意パターンとの相関値を演算する相関値計算部と、前記相関値計算部によって求められた相関値に基づいて、モデルの形状推定を行う形状推定部と、任意パターンの寸法を画像計測演算する寸法計算部とを備えたことを特徴とするスクリーン印刷装置。

【請求項3】

請求項2に記載のスクリーン印刷装置において、

任意パターンの寸法を演算する寸法計算部は、計算結果の外形寸法分の距離分、基板を移動させた後に、該パターンの移動距離を計測し、画像測定誤差を補正する寸法補正部を備えたことを特徴とするスクリーン印刷装置。